あやせのこと、もっと知りたい

12月3日~9日は障害者週間です

障害者週間とは、広く障がい者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、障がい者が社会、経済、文化、その 他あらゆる分野の活動に参加することを促進するもので、毎年12月3日~9日と定められています。同週間をきっかけに、 障がいのある方もない方も、同じように自分らしく生き生きと暮らせるような共生社会について、みんなで考えてみませんか。

間障がい福祉課☎70・5623

親なきあと個別相談会

親亡き後の障がいのある子どもの生活や暮らし、 年金などの収入の確保、お金や財産の管理、相 続、家族関係などについて、弁護士、司法書士、 社会保険労務士、社会福祉士、精神保健福祉士 など専門職による個別相談(相談時間50分)を 行います。

閱来年1月14日(土)10時~12時 場市役所会議 室対市内在住で障がいのある子がいる世帯定10 組(申込順) 1月6日までに障がい児者相談支援 センター☎77・1118



障がい者週間パネル展

障がいについての理解を深めるためのパネルを 展示します。

時12月1日(木)~7日(水)場市役所1階市民ホー ル間同課





市内のちょっと珍しい

文化財を紹介⑨ 奈良三彩 ~前編~

問生涯学習課☎70.5637

灰褐色の粘土を用いた素焼きの 器に、「緑・黄・白」の三色の釉薬を かけて低温で焼成する国産の彩釉 陶器の一種です。飛鳥時代に唐より



早川城山遺跡から出土した奈良三彩の

もたらされた唐三彩の影響を受け て、奈良時代に作られるようになり ました。

平城京やその周辺の限られたエ 房で製作されたと考えられ、畿内を 中心に官衙や寺院・墳墓・祭祀遺跡・ 住居跡などの遺跡から出土してい る他、正倉院(奈良県)には、奈良三 彩が57点収められています。出土す る遺跡や正倉院の伝世品から、庶 民の使う道具ではなく、祭祀や仏事 といった特別な場で使われる道具、 天皇や貴族といった位の高い人物 が所有していた道具だったことが分 かります。 当時、素焼 きの器が主流

だった国内に おいて、釉薬 がかけられた 奈良三彩は異 色の存在だっ たことがうか がえます。



当時主流だった素焼

次回の奈良三彩~後編~では、市 内から出土した奈良三彩について 見ていきます。

12月は地球温暖化防止月間

問環境保全課☎70.5619

地球温暖化による影響

地球の平均気温は約100年の間に0.85度高くなり、日本では1.24度高くなっています。平均気温でみると、1度 程度の上昇かと感じるかもしれませんが、動植物などの生態系や、異常気象などさまざまなところで影響が出ています。 例えば、台風の移動速度が遅くなり、洪水などの被害が深刻化する恐れがあるとされています。

自分たちにできること

地球温暖化の原因は二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの濃度が上昇したことといわれ、私たちは日々生活 する中で、多くの二酸化炭素を排出しています。暮らしの中で、一人一人ができる範囲で、二酸化炭素削減につな がる生活様式を実践することで、大きな削減につながります。

- ●使っていない部屋の明かりや見ていないテレビのつけっ放しはやめましょう
- ●エアコンの設定温度は、夏は28度、冬は20度にしましょう
- ●シャワーの使用時間を減らすなど、水を大切に使いましょう
- ●宅配サービスは、時間指定や宅配ボックスを利用しましょう
- ●食品ロスを減らすために期限表示を確認し、買い過ぎ、食べ残しがないようにしましょう。
- ●エコドライブ(ふんわりアクセル、アイドリングストップ)を実践しましょう

冬季の省エネ・筋雷・筋ガスにご協力ください

冬はエネルギーの使用量が増える季節です。

経済産業省によると、今冬の電力需給は、安定供給に必要とされる予備率3% 以上を確保しているものの、厳しい見通しであるとのことです。

エネルギー使用量の抑制、地球温暖化防止、家計の負担軽減のため、この冬 の省エネルギー・節電・節ガスにご協力をお願いします。

◆協力をお願いしたい期間 12月1日(木)~来年3月31日(金)

